

「秋冬に行う身近な木の手入れ方法」開催レポート

令和5年12月7日（都市農業公園）、8日（ベルmont公園）

講座の内容

前半の講義では、剪定方法（不要な枝や切る位置など）、病虫害対策（マシン油など）や肥料（緩効性肥料）について、実演を交えて解説していただきました。後半は剪定バサミによる「キンモクセイ」や「ギンバイカ」などの剪定を体験したほか、花芽の見分け方や樹形を乱す徒長枝などについて、講師に解説していただきながら園内を散策しました。

<講義の様子>



都市農業公園（会議室）にて



ベルmont公園（陳列館）にて

<実習の様子>



ボサボサのキンモクセイ



徒長枝が目立つカキノキ

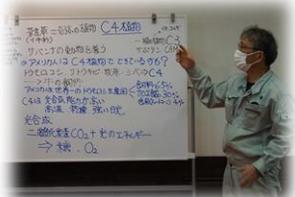


アジサイの花芽の様子



伸びすぎたギンバイカ

<トピックス>



奇跡の植物と言われる「C4植物」を紹介していただきました。サバンナに野生動物が沢山いるのは、この植物のおかげ。NHKのテレビ番組「チョコちゃんに叱られる」でも放送されました。

参加者の声

剪定方法をプロの方に聞くことが出来、大いに参考になりました。人にも伝えようと思います。（60代 初参加）

公園内を歩きながら説明をしていただけ分かりやすかった。樹木も接ぎ木をしていることを初めて知った。（60代 初参加）

剪定の仕方が少しわかった気がします。しかし、剪定は奥が深いですね。（50代 初参加）



講師 岸本 昭雄先生

「1級造園施工管理技士」、「樹木医」としても活躍する造園技術者。造園工事や樹木等の維持管理委託業務に携わっており、平成28年頃から足立区での「剪定講習会」等の講師を務める。